

Basic English Grammar Workbook

Preparing Missionaries for the
American Council on Teaching Foreign Languages (ACTFL)
OPIc Test and Certification

日本語を話す人のための
基本的な英語の文法

Japanese

Use a pencil to fill in the blanks for this workbook.

末日聖徒
イエス・キリスト
教会



目次

発音の手引き		2
レッスン 1:	代名詞、不定詞、現在形の動詞	3
レッスン 2:	現在形の "TO DO" 準動詞	7
レッスン 3:	"TO BE" 動詞	8
レッスン 4:	"いる・ある" (There is) と (There are)	9
レッスン 5:	助動詞 (Would, Could, Should, Can)	12
レッスン 6:	"GOING TO" を使った未来形	15
レッスン 7:	"WILL" を使った未来形	18
レッスン 8:	簡単な過去形	21
レッスン 9:	複合現在完了形	25
レッスン 10:	複合過去完了形	27
レッスン 11:	助動詞と完了形	28
レッスン 12:	現在進行形	30
レッスン 13:	修飾語句: 副詞と前置詞句	35
動詞:	規則動詞	44
	不規則動詞	46

発音の手引き

I. 英語のアルファベットの音:

A (ei)	B (bi)	C (si)	D (di)	E (i)	F (ef)
G (ji)	H (eich)	I (ai)	J (jei)	K (kei)	L (el)
M (em)	N (en)	O(ou)	P (pi)	Q (kew)	R (ar)
S (es)	T (ti)	U (iu)	V (vi)	W (daburyu)	X (ex)
Y (wai)	Z (zi)				

II. 英語の母音

アルファベットには5つの母音があります。日本語の母音は音がそれぞれ一つしかありません。しかし、英語にはそれぞれの母音に一つ以上の音があります。これらの母音の音を正しく発音できるかによってアクセント（なまり）があるかないかが決まります。

母音	日本語の発音	英語の例
"a"	("ei" えい)	late, pray, say, name, date, ate, main
"a"	("a" お)	ball, want, wash, caught,
"a"	(*日本語に存在しない)	fat, dad, man, cat, add, back, ask, at
"e"	("i" い)	me, see, be, she, before, he, sleep
"e"	("e" え)	enter, end, sent, them, bless, help
"i/y"	("ai" あい)	kite, fight, mine, ride, kind, why, my
"i/y"	("i" つまった “い”)	did, it, with, myth, in, gift, miss, him, sit
"o"	("o" お)	only, go, old, over, most, don't, no, so, both
"o"	("a" あ)	got, hot, not, from, on, stop, off, top, often
"o"	("u" つまった “う”)	broom, cool, food, moon, noon, soon, to, do
"o"	("u" う)	book, good, hood, look, stood, wood,
"u"	("u" う)	duty, flute, student, human, future, music
"u"	("iu" いう)	use, union, peculiar, uniform
"u"	("u" あ)	but, cut, us, sun, under, up, just, run, must
"u"	("u" つまった “う”)	put, bush, cushion, push

注意：例からわかるように、同じ母音の音でも違う母音（または例えにない母音を複合したもの）によって発音されることがあります。これが英語の難しいところです。時には日本語にない発音があるでしょう。北アメリカ出身の宣教師が発音を助けてくれることでしょう。

III 発音のヘルプ

- 発音を上達させるために北アメリカ出身の宣教師たちが話す英語を注意深く聞いてください。
- すべての母音を声に出して練習してください。
- 英語を話すことを恐れな~~い~~でください！みんな間違えますが、もっと話すことによって、間違いをより少なくすることができます、そしてあなたの発音は上達するでしょう。

レッスン 1: 代名詞、不定詞、現在形の動詞

I. 代名詞 (主語)

代名詞（主語）は英語においてとても重要な役割を果たします。代名詞を暗記することはとても大切です。なぜなら、何人称で話しているかを告げるからです（敬語のように動詞ではなく）。これらの主語は常に動詞の前にきます。

主語の代名詞 *

Subject Pronouns

私	私たち	I (ai)	We (ui)
あなた	あなたたち	You (iu)	You (all)**(iu)(al)
彼	彼（彼女）ら	He (ji)	They (dei)
彼女		She (shi)	They
それ		It	They

* 代名詞は常に名詞の代わりになります。

** ここでは「all」という言葉を使って「you」が複数であることを表します。

II. 不定詞

不定詞 は日本語で～ことで終わるものです。それは動詞の原形です。

例: 食べること、行くこと、すること

英語では不定詞を作ることはとても簡単です。唯一必要なことは、動詞の前に「to」を置くことです。

例: to walk, to eat, to sleep

それゆえ、日本語ではたった1語でしたが、英語では不定詞をつくるために2語必要となります。もし2語英語で使わないならば、正しく不定詞を使えていません。

英語で、不定詞は現在形を作るのに使われます。前置詞の「to」を取ると、動詞は現在形になります。

III. 動詞の活用

- A. 英語で活用するために、この言語でよく代名詞を暗記しなければなりません。また、これらの英語の代名詞や動詞は日本語での活用と同様だということを忘れてはなりません。

日本語では「欲しい」を「私達が」と言わなくてもどの人が話しているか知ることができます。しかし、英語では代名詞と動詞を言うことは**必要不可欠**です。単純に「欲しい」ということはできず、「欲しい」というために「私達は欲しい」と言わなければなりません。

- B. 英語の現在形の動詞を活用するために**支持に従う**。

1. **To want:** 欲しいこと

2. **I want:** 私はーが欲しい (I = 私)
To want (「**to**」という前置詞の代わりに「**I**」を使う).

- C. 同じ過程が他の全ての代名詞でも行われる。つまり、前置詞の「**To**」を **He, She, It, We, You (all)** と **They** に代える。

例: **To Want** (不定詞)

I Want	We want
You want	You (all) want
He wants	They want
She wants	“
It wants	“

- D. 活用をより理解するための文章:

I want to eat.	(私は食べたい。)
You want to see me.	(あなたは私に会いたい。)
We want to buy it.	(私たちはそれを買いたい。)
You(all) want to have it.	(あなた(達皆は)それが欲しい。)
They need to write.	(彼らは書く必要がある。)

IV. 3人称の代名詞

- A. 動詞を活用する時、唯一代わるのは人の代名詞だけだということに注意すべきです。動詞は全く同じままです。ただし、三人称単数(**he, she, it**)の時は、「s」を動詞に付けるべきです。

例: (全ての主語の代名詞を使って):

I want to buy them.	(私はそれらを買いたい。)
You want to go.	(あなたは行きたい。)
He wants to cook them.	(彼はそれらを料理したい。)
She needs to eat.	(彼女は食べる必要がある。)
It comes rapidly.	(それは速くやってくる。)
We need to sleep.	(私たちは眠る必要がある。)
You (all) need to go.	(あなた(達皆は)行く必要がある。)
They eat often.	(彼らは頻繁に食べる。)

- B. 動詞が**-sh, -ch, -x, -s, -c, -z**, で終わる時は、「s」だけではなく「es」も三人称単数で付け加えなければならない。

例:	to teach (教えること)	He teaches.
	to wash (洗うこと)	She washes.
	to relax (リラックスすること)	It relaxes.
	to press (押すこと)	He presses.

- C. 動詞を使う時: 「to go」(行く) and 「to do」(する)は、また「es」三人称単数で追加することを覚えておかなければならない。

例:

	<u>GO</u>				<u>DO</u>		
I	go	We	go	I	do	We	do
You	go	You (all)	go	You	do	You (all)	do
He	goes	They	go	He	does	They	do
She	goes	"	"	She	does	"	"
It	goes	"	"	It	does	"	"

D. 「to have」(持つこと)という動詞は少し違っています。三人称単数でそれを活用するために、「has」を「have」の代わりに置きます。

例:	I	have	We	have
	You	have	You (all)	have
	He	has	They	have
	She	has	“	“
	It	has	“	“

V. 一般的な不定詞

to baptize	(バプテスマを施すこと)	to need	(必要なこと)
to be	(～になること)	to pray	(祈ること)
to buy	(買うこと)	to read	(読むこと)
to come	(来ること)	to say	(言うこと)
to cook	(料理すること)	to see	(会うこと)
to do, make	(～をする、作ること)	to sell	(売ること)
to drink	(飲むこと)	to sing	(歌うこと)
to eat	(食べること)	to sleep	(眠ること)
to get	(手に入れること)	to take	(取ること)
to go	(行くこと)	to talk, speak	(話すこと)
to have	(持つこと)	to teach	(教えること)
to know	(知ること)	to want	(欲しいこと)
to learn	(学ぶこと)	to work	(働くこと)
to like	(～を好きなこと)	to write	(書くこと)
to meet	(会うこと)	to walk	(歩くこと)

課題 (宿題): 下記の文章を英訳しなさい。

1. 私は手紙を2通書きたいです。

2. 彼女はもっと食べる必要があります。

3. 彼は綺麗な家を持っています。

4. ジョンはアメリカ合衆国に行きます。

5. 私達は賛美歌を歌います。

6. 彼らは英語を学びます。

7. 私は毎日働きます。

8. あなたはりんごを売ります。

動詞のリストを覚え、その動詞を使って文章を作りましょう。色々な主語の代名詞を使いましょう。

レッスン 2: 現在形の 'TO DO' 助動詞 (現在形)

I. 助動詞「to do」の活用

単数		複数	
I	do	We	do
You	do	You (all)	do
He	does	They	do
She	does	“	“
It	does	“	“

II. 助動詞「Do」と「Does」を使った疑問文

A. 文: **I WANT TO WRITE LETTERS.**
(私は手紙を書きたい。)

B. 支持に従う

1. 上記の「to do」という動詞の活用を見る。
2. 助動詞「Do」を文頭に置く(大文字を使う)。
3. クエスチョン・マーク「?」を文末だけに置く。

C. 例: **DO I WANT TO WRITE LETTERS?**

D. 同じ過程が全ての文章で行われます。助動詞が全ての代名詞に対応することを考えなければなりません。(主語の代名詞で助詞が代わるのは: **he, she, it** - 三人称単数だけであることを注意する。)

他の例:

We want to write letters.
Do we want to write letters?

She wants to write letters.
Does she want to write letters?

They want to write letters.
Do they want to write letters?

注意: 助動詞「does」を疑問文で使っている時 (he, she, it に対応して) 主動詞の「s」を消さなければならないことを覚えておく。

例:

She wants a new house.
Does she want a new house?

He likes to play tennis.
Does he like to play tennis?

レッスン 3: "TO BE" 動詞

I. 動詞「to be」(～の状態で)の現在形での活用

単数		複数	
I	am	We	are
You	are	You (all)	are
He	is	They	are
She	is	“	“
It	is	“	“

注意: "Am" goes only with I.

"Is" goes only with he, she, it.

"Are" goes with the rest of the pronouns.

練習: 下記の文章を英訳しなさい。

1. あなたは信仰深い会員です。

3. 彼は私のビショップです。

2. 私はコストリカ出身です。

4. 私達は兄弟です。

II. 疑問文

A. 文: **I AM HAPPY.** (私は幸せです。)

B. 支持に従う:

1. 活用されている「to be」(am) 動詞を見つけ、文頭に置く。

2. クエスチョン・マーク「?」を文末に置く。

C. 例: **I am happy. AM I HAPPY?**

He is sad. (彼は悲しいです) You are tall. (あなたは背が高い)

Is he sad?

Are you tall?

I am sick. (私は病気です)

Am I sick?

練習: 下記の文章を疑問文に換えなさい。

1. My family is very happy.

3. I am an honest person.

2. We are good friends.

4. My dad is a smart man.

レッスン 4: "いる・ある" (There is) と (There are)

I. 英語で“いる・ある”と現在形で言うために二つの言葉があります:

“There is” は単数で話す時、
“There are” は複数で話す時。

A. 例: **THERE IS A HOUSE ON THAT HILL.**
 (あの丘の上には家がある。)

THERE ARE HOUSES ON THAT HILL.
 (あの丘の上にはいくつかの家がある。)

There is a piece of cake in the refrigerator.
(冷蔵庫に一切れのケーキがある。)

There are two pieces of cake in the refrigerator.
(冷蔵庫に二切れのケーキがある。)

There is a man on the corner.
(角に男の人がいる。)

There are many men on the corner.
(角に大勢の男の人がいる。)

注意: 日本語では単数でも複数でも“いる・ある”だけ使うので注意が必要。

B. よく短縮形を使います:

There is: There's
There are: There're

例: **There's a** fly in my soup. (私のスープの中にハエがいる。)
 There're flies in my soup. (私のスープの中にハエが何匹かいる。)

II. 過去形 (いた, あった) は「to be」動詞の過去形を使って作られる。 (**there was, there were**). 短縮形はない。

A. 例:

There is plenty of time. (時間はたっぷりある。)
There was plenty of time. (時間はたっぷりあった。)

There are many investigators. (求道者が大勢いる。)
There were many investigators. (求道者が大勢いた。)

III. 疑問文

A. 文: **THERE'S ONLY ONE APPLE.**
(りんごがたった一つだけある。)

B. 支持に従う:

1. 文頭の動詞“**to be**” (**is, are**) を代える。
2. クエスチョンマーク「**?**」を文末に置く。

C. 例: **There is only one apple.**

There are six elders on the bus.
Are there six elders on the bus?

IS THERE ONLY ONE APPLE?

(バスに6人のお年寄りが乗っている。)

There were many people hurt.
Were there many people hurt?

(傷ついた人々が大勢いた。)

練習: 下記の文章を疑問文に書き換えなさい。

1. There was a “golden” family in that house.

3. There are four books of scripture.

2. There were six discussions to teach.

4. There is only one true church.

IV. 否定形

A. 文: **THERE'S AN APPLE ON THE TABLE.**

B. 支持に従う:

1. 動詞 “**to be**” (**is, are**)を探す。
2. 否定 **not (is not, isn't)** を動詞の後に置く。

注意: *否定形“**isn't**”の後、“**a**”や“**an**”を使い、否定形“**aren't**”の後、“**any**”や“**数字**”を名詞の前に使う。

C. 例: **THERE IS NOT (ISN'T) AN* APPLE ON THE TABLE.**

There **is** money in your wallet. (あなたの財布にお金が入っている。)
There **isn't** any money in your wallet.

There **were** oranges in the store. (店にオレンジがいくつかあった。)
There **weren't** any oranges in the store.

練習: これらの文章を否定形に換えなさい。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. There's a museum downtown. | 3. There's a hardware store on 10th Avenue. |
| _____ | _____ |
| 2. There were two jewelry shops. | 4. There was a mouse under my bed. |
| _____ | _____ |

V. 否定疑問文

A. 文: **THERE ISN'T AN APPLE ON THE TABLE**

B. 支持に従う:

1. 否定形の動詞 **"to be" (isn't)** を探し、文頭へ移す。
2. クエスチョン・マーク「?」を文末に置く。

C. 例: **ISN'T THERE AN APPLE ON THE TABLE?**

There **wasn't** any time left. (時間が少しも残されていなかった。)
Wasn't there any time left?

There **aren't** any books in here. (ここに本は一冊もない。)
Aren't there any books in here?

練習: これらの文章を否定疑問文に換えなさい。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1. There aren't any friendly people here. | 3. There wasn't a doorbell to ring. |
| _____ | _____ |
| 2. There aren't any missionaries here. | 4. There isn't any milk in the house. |
| _____ | _____ |

課題: これらの文章を英訳しなさい。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. この店にパンはない。 | 5. 今まで四つのバプテスマがあった。 |
| _____ | _____ |
| 2. 町にたくさんのバスがありますか。 | 6. バプテスマの服に問題がありました。 |
| _____ | _____ |
| 3. 今週バプテスマがありますか。 | 7. 「金人の家族」がその家にいましたか。 |
| _____ | _____ |
| 4. 私の家に動物はいません。 | 8. バプテスマでは求道者がいませんでしたか。 |
| _____ | _____ |

レッスン 5: 助動詞 (WOULD, COULD, SHOULD, CAN).

I. 助動詞—would, could, should, can.

A. WOULD (日本語で = 原形 + "-だろう")

1. "would" を主動詞の前に置く。 (**would like** = したい).
(助動詞は、他の動詞と同様に、主動詞の 前に 使われる。)

話すだろう: **would talk**

聞くだろう: **would listen**

2. 例: I like to read (私は読むことが好きです。)
 I would like to read (私は是非読みたいと思います。)

They would have more success if they had more faith.
(もし彼らにもっと信仰があれば、もっと成功しただろう。)

We would be sad if we lost.
(もし私たちが負けていたら、悲しんでいただろう。)

B. COULD (～することができた, ～したかもしれなかった, ～かもしれない)

1. この動詞は内容によって、三つの意味を持つことがあります。
 - a. ～することができた(可能)がほとんどの場合に使われます。
 - b. 過去 の文を示す時、**時には～する場合もありえたや～したかもしれなかった** という意味を持つ。
時々、過去を示す 言葉 を探すことができる:
昨日(yesterday), 先週 (last week), など。
 - c. "**～かもしれない**" (**if**) という言葉を使って状態を示す時に **might** の意味を持つ。

2. Place "**could**" before the 主動詞 (**could bring**: 持ってこられるかもしれない)

3. 例: I **could** bring it tomorrow.
 (明日持ってこられるかもしれない。)

She **could** speak better English last year.
(彼女は去年もっと上手な英語を話すことができた。)

If we **could** buy them, we **would be** happy.
(もし私たちがそれらを買うことができれば、幸せだったでしょう。)

C. SHOULD (～すべきである, ～のはずだ)

1. “**should**” を主動詞の前に 置く。
(**should come**: 来るべき).

2. 例:

They **should** come earlier.
(彼らはもっと早くに来るべきだ。)

He **should** bring the books.
(彼は本を持って来るべきだ。)

You **should** go home.
(あなたは家に帰るべきだ。)

D. CAN (～できる の現在形)

1. “**can**” を主動詞の前に 置く。
(**I can see**: 見える)

2. 例:

I **can** see my house from here.
(ここから私の家が見える。)

He **can** read a book.
(ここから私の家が見える。)

注意: もしその動詞が他の主動詞と一緒に使われるなら、助動詞の後に “**to**”+動詞の原形 を使う必要はない。

間違い: I can to speak Japanese.

正解: I **can speak** Japanese. (私は日本語が話せる。)

間違い: He can to buy the books.

正解: He **can buy** the books. (彼は本を買うことができる。)

注意: 助動詞において、三人称単数(**he, she it**)で、“**s**” を動詞の活用として加えない:

間違い: He would reads it.

正解: He would read it.

注意: 助動詞が主動詞として"to be"の動詞と一緒に使われる時、"be"を使う。

She **can be** nice. I **could be** sorry. We **should be** here.

練習: 以下の文章を助動詞を使った状態の文へ換えなさい。

1. I like to go fishing. (Would)

4. He studies for two hours every day. (Could)

2. She is a good actress. (Can)

5. We love to study English. (Should)

3. My mom reads a lot. (Would)

6. He rides the bus every day. (Should)

II. 疑問文

A. 文: **MARY WOULD LIKE TO SELL THEM.**
(マリーはそれらを売りたいです。)

B. 支持に従う:

1. 助動詞(**would**)を見つける。
2. 文頭に移す。
3. クエスチョン・マーク "?" を文末に置く。

C. 例: WOULD MARY LIKE TO SELL THEM?

He could ride a bicycle.
Could he ride a bicycle? (彼は自転車に乗ることができますか。)

They should rest more.
Should they rest more? (彼らはもっと休むべきですか。)

Louis can read rapidly.
Can Louis read rapidly? (ルイスは速く読むことができますか。)

練習: 下記の文章を疑問文に換えなさい。

1. We would like to learn Spanish.

4. His uncle could take us to Bombay.

2. My dad should visit London.

5. You should travel to Moscow.

3. Our family can buy them all.

6. I can run very fast.

レッスン 6: ~するつもりだ、~しようとしている(未来形) “GOING TO”を使って

- I. 未来形をよく知るために必要なステップ (未来形)
英語で“going to”を使う

A. 動詞“to be” (～の状態で)をどのように活用するのかをよく知る:

I	am	We	are
You	are	You (all)	are
He	is	They	are
She	is	“	“
It	is	“	“

B. 未来形の文章にするために、以下の形態を応用する。

 am
代名詞 + is + going to + 動詞 + 他の言葉
 are

- C. 例: I + am + going to + cook + beans.
 (私は します 料理 豆を)
- She is going to pray tonight.
 (彼女は今夜祈るでしょう。)
- We are going to find many “golden families.”
 (私たちは多くの「金人家族」を見つけるつもりです。)

練習: 以下の文章を英訳しなさい。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 彼は彼の伝道をおぼえているでしょう。 | 4. あなたは今日の午後連絡するつもりです。 |
| _____ | _____ |
| 2. 私達は二つの言語を学ぼうとしています。 | 5. 彼らはユタへ旅行に行くつもりです。 |
| _____ | _____ |
| 3. 英語をもっとよく話すよう学ぶつもりです。 | 6. 彼らは手紙を書こうとしています。 |
| _____ | _____ |

II. 疑問文

A. 文: **HE IS GOING TO CLEAN HIS HOUSE.**
(彼は自分の家を掃除するでしょう。)

B. 支持に従う:

1. 動詞"**to be**" (**is**) の活用形を探し、文頭に置く。
2. クエスチョン・マーク"**?**" を文末に置く。

C. 例: **IS HE GOING TO CLEAN HIS HOUSE?**

She is going to go home. (彼女は家に帰るでしょう。)
Is she going to go home?

We are going to sing a song. (私たちは歌を歌うつもりです。)
Are we going to sing a song?

I am going to write a letter. (私は手紙を書くつもりです。)
Am I going to write a letter?

練習: 以下の文章を疑問文に換えなさい。

1. You are going to drink lemonade.

3. They are going to win the race.

2. They are going to find the church.

4. Mary is going to bake some cakes.

III. 否定形

A. 文: **HE IS GOING TO CLEAN HIS HOUSE.**

B. 支持に従う:

1. 動詞 "**to be**" (**is**) の活用形を探す。
2. "**not**" を動詞の後に加える。 (**is not**)
短縮形を使う: **isn't, aren't, I'm not**

C. 例: **HE ISN'T GOING TO CLEAN HIS HOUSE.**

I am going to pray every day. (私は毎日祈るつもりです。)
I'm **not** going to pray every day.

They are going to work tomorrow. (彼らは明日働くでしょう。)
They **aren't (are not)** going to work tomorrow.

She is going to buy a house. (彼女は家を買うでしょう。)
She **isn't (is not)** going to buy a house.

練習: 以下の文章を否定形へと換えなさい。

1. You're going to find people to teach.

2. Jared and I are going to study harder.

3. I am going to travel to Berlin.

4. I am going to bring a Bible.

IV. 否定疑問文

A. 文: HE ISN'T GOING TO CLEAN HIS HOUSE.

B. 支持に従う:

1. 否定形の動詞 **"to be" (isn't)** を見つけ、文頭に置く。
2. クエスチョン・マーク「?」を文末に置く。

C. 例: ISN'T HE GOING TO CLEAN HIS HOUSE?

We aren't going to read a book.
Aren't we going to read a book?

(私たちは本を読まないでしょう。)

He isn't going to speak to me.
Isn't he going to speak to me?

(彼は私に話しかけないでしょう。)

練習: 以下の文章を否定疑問文に換えなさい。

1. This apple isn't going to taste bitter.

2. My nieces aren't going to fall asleep.

3. She's not going to study Korean.

4. We aren't going to understand.

課題: **"going to"**を使って文章を作る。それぞれの文章を疑問文、否定文、否定疑問文に換えなさい。

レッスン 7: 未来形 (未来形) 助動詞 "WILL" を使う

1. 助動詞 "WILL" を使った未来形 (未来形)

A. 文: I BUY VEGETABLES EVERY DAY.

B. 支持に従う:

1. 動詞を探す (**buy**)
2. "will" を動詞の 前に 置く。 (**will buy**)

C. 例: I **WILL** BUY VEGETABLES EVERY DAY.

He cleans his room. (彼は自分の部屋を掃除する。)
He **will** clean his room.

They go often. (彼らは頻繁に行っている。)
They **will** go often.

注意: 短縮形の "will" を使うことができる: I'll, you'll, he'll, she'll, it'll, we'll, they'll.

注意: 主動詞は現在形で三人称単数形でも "s" は決していない。

複数	単数
We do not say:	He will sleeps.
We say:	He will sleep.

練習: 以下の文章を "will" を使って未来形に換えなさい。短縮形も書きなさい。

- | | |
|--|---|
| 1. I see him every day.
<u>I will (I'll) see him every day.</u> | 5. We read the Bible often.
_____ |
| 2. She likes to buy fruit in this store.
_____ | 6. He eats a lot of peaches.
_____ |
| 3. You write letters on Mondays.
_____ | 7. They walk every day.
_____ |
| 4. They send me money.
_____ | 8. The sun rises in the morning.
_____ |

II. 疑問文

A. 文: I WILL BUY VEGETABLES EVERY DAY.

B. 支持に従う:

1. 動詞 "will" を見つけ、文頭に置く。
2. クエスチョン・マーク「?」を文末に置く。

C. 例: WILL I BUY VEGETABLES EVERY DAY?

Ill sell it. (私はそれを売るつもりです。)

Will I sell it?

She will clean the house. (彼女は家を掃除するでしょう。)

Will she clean the house?

Theyll go tomorrow. (彼らは明日行くでしょう。)

Will they go tomorrow?

練習: 以下の文章を疑問文に換えなさい。

1. She'll get the prize soon.

3. They'll sing again tomorrow.

2. We'll bring it today.

4. He'll be here.

III. 否定形

A. 文: I WILL WRITE A LETTER.

B. 支持に従う:

1. 動詞 "will" を探す。
2. 動詞の後に "not" を加える。 (will not, won't)

C. 例: I WILL NOT (WON'T) WRITE A LETTER.

He will eat later.

(彼は後で食べるでしょう。)

He **will not (won't)** eat later.

I will finish the book.

(私はその本を読み終えるつもりです。)

I **will not (won't)** finish the book.

They will be late.

(彼らは遅れるでしょう。)

They **will not (won't)** be late

練習: 以下の文章を否定形に換えなさい。

1. Ann will buy a new watch.

2. They'll need to paint it again.

3. Peter and I will sell these tools.

4. We'll talk to your dad tomorrow.

IV. 否定疑問文

A. 文: THEY WON'T GO HOME.

B. 支持に従う:

1. 否定形 の動詞 "**will**" (**won't**) を見つけ、文頭に置く。

2. クエスチョン・マーク「?」を文末に置く。

C. 例: WON'T THEY GO HOME?

They **won't** study much.
Won't they study much?

(彼らはあまり勉強しないでしょう。)

We **won't** drink it.
Won't we drink it?

(私たちはそれを飲むつもりはありません。)

練習: 以下の文章を否定疑問文に換えなさい。

1. Teresa's parents won't come.

2. We won't be ready in an hour.

3. She won't be here soon.

4. They won't go with me.

課題: "**will**" を使って、英訳しなさい。それぞれの文を疑問文、否定文、否定疑問文に換えなさい。

1. The president will return at five.

2. They will have many opportunities.

3. I will wait for the bus.

4. You will arrive tomorrow.

レッスン 8: 簡単な過去形 (簡単な過去形)

I. 簡単な過去形には二つの種類の動詞がある。(過去形).

A. 規則 動詞: “e”で終わる時に “d” を動詞の語尾に付け加え、もしそうでなければ “ed”を付け加える。

例:	to close:	closed <u>d</u>	to learn:	learn <u>ed</u>
	to love:	love <u>d</u>	to play:	play <u>ed</u>
	to dare:	dare <u>d</u>	to climb:	climb <u>ed</u>
	to use:	use <u>d</u>	to open:	open <u>ed</u>

注意: 規則動詞の発音は三種類ある:

グループ 1: 音が出る一つの音で終わる動詞は、このように発音する。

“-ed” を “d” (有声) のように。

play - played open - opened love - loved

グループ 2: Verbs that end with one sound that is not voiced, we pronounce

the “-ed” like “t” (not voiced).

help - helped wish - wished work - worked

グループ 3: Verbs that end with “d” or “t”, we pronounce

the “-ed” like “ed” (we pronounce the vowel).

start - started end - ended attend - attended

注意: 過去形の動詞をもっと学ぶために、45 ページにある 規則動詞 のリストを見る。

B. 不規則 動詞: ほぼ全ての動詞の部分を変えてつくる。
(暗記が必要)

例:	to buy:	bought	to bring:	brought
	to catch:	caught	to teach:	taught
	to eat:	ate	to say:	said
	to come:	came	to go:	went

- 注意:** 過去形の動詞をもっと学ぶために、48ページにある**不基本動詞**のリストを見る。
- 注意:** 過去を表現する場合、日本語は過去時制、未完了形（半過去形：過去にしていたことで今も続いているという意味）を使います。英語も同じです。過去（半過去）での習慣を言い表す時に、動詞の前に“used to”を置くことができます。

例: **I used to buy oranges.** **I used to live in Utah.**
 (よくオレンジを買いました。) (以前はユタに住んでいました。)

C. 文: I BUY THREE ORANGES.
 (私は三つのオレンジを買います。)

- D. 支持に従う:**
1. 現在形の動詞を探し、過去形にかえる。
 2. 三人称単数で、過去形は活用されない。(I bought, he bought).

E. 例: I BOUGHT THREE ORANGES.
 (私はオレンジを三つ持ってきました。)

He wins the game. (彼はゲームに勝つ。)

He **won** the game. (彼はそのゲームに勝った。)

They stand to give the prayer. (彼らは祈るために立ち上がる。)

They **stood** to give the prayer. (彼らは祈るために立ち上がった。)

II. 疑問文

- A. 支持に従う:**
1. 助動詞 “**did**” (動詞“do”の過去形)を使う必要がある。
 2. 動詞“**did**”を文頭に置く。
 3. 動詞“**bought**”を現在形(buy)にかえる。
 4. クエスチョン・マーク「?」を文末に置く。

B. 例: DID I BUY THREE ORANGES?

She ate the apple. (彼女はりんごを食べた。)

Did she **eat** the apple?

They came to the house. (彼らは家に来た。)

Did they **come** to the house?

We opened the door. (私たちはドアを開けた。)

Did we **open** the door?

練習: これらの文章を疑問文にかえなさい。

1. She wanted to get a soft sofa.

2. Charles swam in a deep river.

3. Elaine and I liked to be lazy.

4. Your cousin and I found it.

5. I went to the hospital last week.

6. I taught the man the first discussion.

III. 否定形

A. 文: I BOUGHT THREE ORANGES.

B. 支持に従う:

1. 動詞を見つける。(bought)
2. 否定形の助動詞 “didn't” を動詞の前に置く。
3. 動詞を現在形にかえる (didn't buy).

C. 例: I DIDN'T BUY THREE ORANGES.

He liked the food. (彼はその食べ物を気に入った。)

He **didn't like** his food.

She made the cake. (彼女はケーキを作った。)

She **didn't make** the cake.

I found a large dog. (私は大きな犬を見つけた。)

I **didn't find** a large dog.

練習: これらの文章を否定形にかえなさい。

1. My family liked to visit my grandmother.

2. She wanted to clean her house.

3. Lisa had to go to Tegucigalpa.

4. The dog ate all its food.

5. My brother wrote a good book.

6. I understood the doctrine.

IV. 否定疑問文

A. 文: I DIDN'T BUY THREE ORANGES.

B. 支持に従う:

1. 否定形助動詞 (**didn't**) を 文頭 に置く。
(主動詞 (**buy**) は 現在形 であることに注意する。)
2. クエスチョン・マーク「?」を文末に置く。

C. 例: DIDN'T I BUY THREE ORANGES?

He **didn't** sell the car. (彼は車を売らなかった。)
Didn't he sell the car?

She **didn't** know how to dance. (彼女は踊り方を知らなかった。)
Didn't she know how to dance?

練習: これらの文章を否定疑問文にかえなさい。

1. Mary didn't buy me a drink.

3. The teacher didn't erase the board.

2. Peter didn't look at them.

4. You didn't steal those notebooks.

課題: これらの簡単な過去形 (過去形) の文章を英訳しなさい。

規則動詞:

1. ジョンはドアを開けました。

6. 彼女は私を覚えていました。

2. 私の祖父は長年生きました。

7. 彼は動詞を学びました。

3. 私のおいは早く帰りました。

8. その鶏は私について来ました。

4. 犬は飛び跳ねました。

9. 私のおじさんは私を助けてました。

5. その若い女の子は上手に踊りました。

10. その医者には私を診ました。

レッスン 9: 複合現在完了形 (現在完了形)

I. 複合現在完了形 (現在完了形).

助動詞 **“to have”** と **過去分詞** (分詞) を使ってつくる。日本語で過去分詞は 4 つの意味を表す: ずっと〜だ、〜したことがある、〜し終わった。

(to have finished: ずっと (前に) 終わっていた、終わったことがある、終わった)

A. 助動詞 “to have” を活用する。

<u>Singular</u>		<u>Plural</u>	
I	have	We	have
You	have	You (all)	have
He	has *	They	have
She	has *	“	“
It	has *	“	“

* 唯一変わるのは、三人称単数の時だけです。

B. 過去分詞 (分詞) には 2 種類の動詞があります。

1. 規則動詞:

動詞が **“e”** で終わる時に、**“d”** を最後につけます。
もし **“e”** で終わらない時は **“ed”** (過去形と同じように) をつける。

例:	to close	closed	to learn:	learned
	to love	loved	to play:	played
	to dare:	dared	to climb:	climbed

2. 不規則動詞:

ほぼ全ての動詞の部分を変えてつくる。
いくつかは過去形と同じものがあるが、全く違うものもある。
(暗記が必要)

例:	to be:	been	to bring:	brought
	to go:	gone	to teach:	taught
	to eat:	eaten	to say:	said
	to come:	come	to catch:	caught

注意: 動詞の過去分詞の形態を学ぶために、48 ページの **不規則動詞** を参照する。

II. 複合現在完了形

A. 文: **MARY GOES TO THE MEETING.**

(メアリーは会議へ行く。)

B. 支持に従う:

1. 主語に従って **“to have”** の形式を探す。
三人称単数 の時は **“has”** を使い、それ以外は **“have”** を用いる。
2. 動詞 **“to have”** の後に 過去分詞 の動詞をおく。
(**has gone**: 行ってしまった)

C. 例: **MARY HAS GONE TO THE MEETING.**

(メアリーはミーティングへ行ってしまった。)

They <u>eat</u> potatoes every day.	(彼らは毎日ジャガイモを食べる。)
They <u>have eaten</u> potatoes every day.	(彼らは毎日ジャガイモを 食べている 。)
Elder Thomas <u>goes</u> to church.	(トマス長老は教会へ行く。)
Elder Thomas <u>has gone</u> to church.	(トマス長老は教会へ 行ってしまった 。)
I <u>love</u> my companion.	(私は同僚を愛しています。)
I <u>have loved</u> my companion.	(私は同僚を 愛してきました 。)

練習: 下記の文章を英訳しなさい。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 私達は私たちの仕事をやり終えました。 | 4. 私はその質問を答え終えました。 |
| _____ | _____ |
| 2. 子供達はアメフトをしたことがあります。 | 5. その兵隊は戦争で戦ったことがあります。 |
| _____ | _____ |
| 3. 私はいつもキリストを信じてきました。 | 6. 彼らはお金を使ってしまいました。 |
| _____ | _____ |

III. 疑問文

A. 文: **MARY HAS GONE TO THE MEETING.**

B. 支持に従う:

1. 助動詞 (**has**) を見つけ、文頭 に置く。
2. クエスチョン・マーク「?」を文末に置く。

C. 例: **HAS MARY GONE TO THE MEETING?**

(メアリーはもう会議へ行きましたか?)

レッスン 10: 複合過去完了形 (過去完了形)

I. 複合過去完了形 (完了形)

A. 過去完了形 は助動詞 “to have” の過去形 “had” と過去分詞 (分詞) を使って構成される。
(had finished: 終わらせていた。)

1. 助動詞 “to have” の過去形はいつも “had” である。
(I had, You had, *He had, *She had, *It had, We had, They had).
* 三人称単数でも 変化をしない。
2. 過去分詞は全ての時制で同じである。

B. 文: **YOU HAVE BEEN A MISSIONARY.**
(あなたはずっと宣教師です。)

C. 支持に従う:

1. “to have” (have) の形式を見つけ、過去形 “had” にかえる。
2. 過去分詞の動詞 (been) を動詞 “had” の 後 に置く。

D. 例: **YOU HAD BEEN A MISSIONARY.**
(あなたは宣教師だったことがあった。)

They <u>have eaten</u> potatoes.	(彼らはずっとジャガイモを食べている。)
They <u>had eaten</u> potatoes.	(彼らはジャガイモを食べていたことがあった。)
Elisa <u>has made</u> a dessert.	(エリサはデザートを作ったところだ。)
Elisa <u>had made</u> a dessert.	(エリサはデザートを作ったことがあった。)

II. 疑問文

A. 支持に従う:

1. 助動詞 (had) を見つけ、文頭に置く。
2. クエスチョン・マーク 「?’ を文末に置く。

B. 例: **HAD YOU BEEN A MISSIONARY?**
(あなたは宣教師だったことがありますか?)

I <u>had learned</u> all the verbs.	(私は全ての動詞を覚えたことがある。)
<u>Had</u> I learned all the verbs?	

レッスン 11: 助動詞と **WOULD**, **SHOULD** と **COULD** のような完了形

I. **WOULD HAVE (would've):** ~ただろう

A. 文: **NELDA WOULD GO TO HER OFFICE.**
(ネルダは彼女のオフィスに行くだろう。)

B. 支持に従う:

1. 主動詞 (go) を見つけ、過去分詞にかえる。 (**gone**)
2. 助動詞 "**would**" を置き、助動詞 "**have**" を過去分詞の前に置く。 (**would have gone, would've gone**).

C. 例: **NELDA WOULD HAVE GONE TO HER OFFICE.**
(ネルダはオフィスに行っていただろう。)

Lewis would have liked to go with them.
(ルイスは彼らと一緒に行きたかっただろう。)

The elder would've baptized them if they had attended Sunday.
(もし彼らが日曜に出席していれば、長老はバプテスマを施していただろう。)

II. **COULD HAVE (COULD'VE):** ~した可能性がある, ~したはずだ, ~したかもしれない (けどしなかった)

A. 文: **THE CHILDREN COULD EAT CANDY.**

B. 支持に従う:

1. 主動詞 (eat) を見つけ、分詞にかえる。 (**eaten**)
2. 助動詞 "**could**" を置き、助動詞 "**have**" を過去分詞の前に置く。 (**could have eaten, could've eaten**).

C. 例: **THE CHILDREN COULD HAVE could've EATEN CANDY.**
(その子供達はキャンディーを食べていたかもしれない。)

That man could have walked faster.
(あの男性はもっと速く歩くことができた。)

If I could have helped her more, my mother wouldn't be so tired.
(もし私が母をもっと手伝うことができれば、彼女はそこまで疲れることはなかった。)

His mom could have written him more often.
(彼の母は彼にもっと手紙を書くことができた。)

III. SHOULD HAVE (Should have): ~すべきだった (のにしなかった)

A. 文: SHE SHOULD PAY ATTENTION IN CHURCH.

(彼女は教会で集中すべきです。)

B. Follow the directions:

1. 主動詞 (pay) を見つけ、過去分詞(paid)にかえる。
2. 助動詞 "should" を置き、助動詞"have" を過去分詞の前に置く。(should have paid, should've paid).

C. 例: SHE SHOULD HAVE PAID ATTENTION IN CHURCH.

(彼女は教会で集中すべきでした。)

I should have sewn my dress today.

(私は今日ドレスを縫うべきでした。)

They should've cleaned their apartment on Monday.)

(彼らは月曜にアパートを掃除すべきでした。)

注意: 完了形で助動詞"CAN" は使わない。単純過去時制 "COULD"だけ使う。

練習: 完了形にかえなさい。

1. Your son should wait longer for her.

4. We could walk to school.

2. Her mom would go to the museum often.

5. It could mean different things.

3. He would open another can of fruit.

6. The children should go to sleep.

課題: 記の文章を英訳しなさい。

1. 私の犬はもっと食べるべきです。

4. カルロスと同窓会に行けたら。

2. 父はもっとよく計画すべきでした。

5. 彼らはもっと私達に払えたら。

3. 妹はサーカスに行きたかったら。

6. かれは窓を壊していただろう。

レッスン 12: 現在進行形 (現在進行形)

I. 現在進行形

A. 現在形の動詞“to be” (いる・ある)の活用をよく理解する。:

I	am	We	are
You	are	You (all)	are
He	is	They	are
She	is		
It	is		

B. 進行形をどのようにつくるかよく理解する。日本語では:

～しているで終わる。

規則は:

1. 現在進行形は通常は“ing”を動詞につける。

例:	sing	singing	throw	throwing
	sleep	sleeping	mean	meaning

2. 動詞が“e”で終わる時、“e”を“ing”を加える前取る。

例:	ride	riding	shine	shining
	drive	driving	come	coming

3. 動詞が一つの音で子音で終わる時、そして母音が短い音で発音される時、“ing”の前の子音を2つに増やす。

例:	get	getting	win	winning
	run	running	sit	sitting

C. 現在進行形をこの形式でつくる:

am

主語 + is + 動詞 + ing + 他の動詞.

are

例: I + am + eat + ing + salad.
(私はサラダを食べています。)

She is giving a talk.
(彼女は話をしています。)

We are finding many "golden families."
(私たちは大勢の「金人家族」を見つけています。)

D. また、**短縮形** も使うことができます。(短縮形).

I am = I'm You are = you're
It is = it's We are = we're

He is = he's She is = she's
They are = they're

練習: 以下の文章を現在形から現在進行形へとかえなさい。

1. They walk in the park.

3. The teenager follows me.

2. He thinks of an answer.

4. I have a birthday next week.

課題: 以下の文章を英訳しなさい。

1. 彼は今伝道をしています。

4. 彼らはあなたを待っています。

2. その子供は恵みを請っています。

5. 預言者はあらゆる所に訪問しています。

3. タティアナはピアノを弾いています。

6. 私は毎週30のレッスンをしています。

II. 疑問文

A. 文: **HE IS LOVING HIS MISSION.**

B. 支持に従う:

1. 動詞 "**to be**" (**is**) の活用形を見つけ、文頭に動かす。
2. クエスチョン・マーク「?」を文末に置く。

C. 例: **IS HE LOVING HIS MISSION?**

She is writing a letter.

Is she writing a letter.

Your parents are coming to Honduras.

Are your parents coming to Honduras.

III. 否定形

A. 文: **HE IS READING THE BOOK.**

B. 支持に従う:

1. 動詞 “to be” (is)の活用形を見つける。
2. 否定を動詞につける。短縮形を使う:

Isn't, aren't
am not (短縮形がない). “I'm not”を使う。

C. 例: HE ISN'T READING THE BOOK.

I am working hard.

I'm not working hard.

(私は熱心に働いていません。)

The woman is cooking.

The woman **isn't** cooking.

(その女性は料理していません。)

My parents are building a house.

My parents **aren't** building a house.

(私の両親は家を建てていません。)

IV. 否定疑問文

A. 支持に従う:

1. 動詞 “to be” の否定形(**isn't**)を探し、文頭に置く。 . 常に短縮形を使う。
2. 文末にクエスチョン・マーク“?”を置く。

B. 例: ISN'T HE READING THE BOOK?

We aren't playing soccer today.

Aren't we playing soccer today?

(私たちは今日はサッカーをしません。)

He's not lying to us.

Isn't he lying to us?

(彼は私たちに嘘をついていない。)

They aren't speaking to me.

Aren't they speaking to me?

(彼らは私に話をしていない。)

V. 疑問詞を使った質問の情報 (Wh)

A. 疑問詞を暗記する

Where?	どこ?	When?	いつ?		
Why?	なぜ?	How?	どう?		
What?	何?	Which?	どれ?	どの?	どちらか?
Who?	誰?	誰が?			
Whom? To whom?	誰に?	誰へ?			
With, for, of whom?	誰と,	誰のために,		誰の?	
Whose?	誰の?				
How much ___?	いくら?	どのくらい?			
How many ___?	いくつ?	どのくらい?			

B. 疑問詞を文頭に置く:

疑問詞 +	助動詞 +	主語 +	主動詞 +	他の単語
言葉	動詞			
When	did	I	meet	you?
Where	will	they	eat	today?
How	have	the sisters	been living?	
Why	would	the bishop	call	me?

C. 例:

He was listening to the radio.
Why was he listening to the radio? (なぜ彼はラジオを聞いていたのですか?)

You opened the door?
When did you open the door? (あなたはいつドアを開けたのですか?)

You are serving a mission.
Why are you serving a mission? (あなたはなぜ伝道をしているのですか?)

You have lived.
Where have you lived? (あなたはどこに住んだことがありますか?)

You found me.
How did you find me? (あなたはどうやって私を見つけたのですか?)

課題: 以下の文章を英訳し、答えを書きなさい。:

1. なぜ英語を勉強しているんですか?

4. 何を買うつもりですか?

2. 今日は誰と一緒に働く予定ですか?

5. 誰を愛していますか?

3. そのお金は誰のためですか?

6. 誰と話しているんですか?

D. WHOSE: 所有 (誰の?) を表す時、"Whose"を使います。"whose"の後に名詞が必要です。時々名詞は黙認され、提示されません。単数形や複数形に関わらず、"whose"を使います。(Whose is, Whose are).

Whose +	name +	動詞,	他.	
Whose	(house)	is	this?	(これは誰の家ですか?)
Whose	(dog)	is	that?	(あれは誰の犬ですか?)
Whose	(pencil)	are	you using?	(誰の鉛筆を使っているのですか?)

下記の質問を英訳し、答えを書きなさい。:

1. このリュックサックは誰のですか?
2. これは誰の靴ですか?

E. HOW MUCH いくら? HOW MANY いくつ?

「どのくらい?」と聞く時、"How much" や "How many" を後の名詞に合わせて使う。時々、名詞が黙認されていて、表現されない場合がある。

<u>How much</u>	+	<u>名詞</u>	+	<u>動詞</u> ,	<u>他?</u>
How much		(money)		do	you need?
How many		(children)		attend	Primary?
How many		(lessons)		have	you given?
How many		(new elders)		are	there?

以下の質問を英訳し、答えも書きなさい:

1. そのゾーンに何人の姉妹がいますか?
2. いくつパンフレットを持っていますか?
3. どのくらい飲み物を買うんですか?
4. ニカラグアにはいくつの火山があるんですか?

F. WHAT + BE. (何 + いる・ある) 説明がほしい時に、以下の形式を使います。:

<u>What</u>	+	<u>is</u>	+	<u>名前</u>	+	<u>like?</u>	
What		is		your friend		like?	(あなたの友達はどんな人ですか?)
What		are		your parents		like?	(あなたの親はどんな人達ですか?)

以下の質問を英訳し、答えも書きなさい:

1. あなたの同僚はどんな人ですか?
2. ホンダラスでの伝道はどんなものですか?

G. WHAT? 何と動詞いる・あるは“What”と英訳されます。

What is the capital of Mexico?	メキシコの首都は何ですか?
What is astronomy?	天文学とは何ですか?
What are the products ...?	ー製品とは何ですか?
What is your address?	あなたの住所は何ですか?

H. **WHICH?** “どれ” や “どの” と、二つや複数のものから選択や選択の範囲を決めることを尋ねる時、“Which” と英訳します。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| Which dress do you prefer? | どちらのドレスが好きですか? |
| Which meeting starts at 7:00? | どちらの集会在7時から始まりますか? |
| Which boy is sick? | どちらの男の子が病気ですか? |
| Which passengers have arrived? | どちらの乗客が到着したのですか? |
| Which book is interesting? | どちらの本が面白いのですか? |

以下の質問を英訳し、答えも書きなさい:

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1. 信仰は何ですか?
_____ | 4. どの歌がお気に入りですか?
_____ |
| 2. あなたの名前は何かですか?
_____ | 5. どのデザートがもっとおいしいでしょうか?
_____ |
| 3. どの帽子を選び好みますか?
_____ | 6. ペルーの首都は何といいますか?
_____ |

レッスン 13: 修飾語句: 形容詞、副詞と前置詞句

文章の中の修飾語句:

修飾語句は他の言葉を修飾したり、説明したり、適切な言葉で表す単語や節です。修飾語句は文章をもっとおもしろくしたり、詳しく表します。伝達された文章やアイデアにもっと色を与えます。3種類の修飾語句は:形容詞 (adjectives),副詞 (adverbs)そして 前置詞句 (prepositional phrases)です。

I. 形容詞 (Adjectives)

形容詞は名詞(nouns)を適切に表します。名詞の質や、色や、大きさなどを伝えます。英語では、形容詞は名詞の前にきます。形容詞は数や性別によって変わりません。

例:	red book	(赤い本)	red house	(赤い家)
	red books	(何冊かの赤い本)	red houses	(いくつかの赤い家)

A. 強度の度合い—比較系

1. 二つのことや人の中で比較(comparisons)するために、形容詞が一音だけな場合、“**-er than**” (~よりも)を形容詞の後に加える。

例: Mary is short, but Ann is shorter than Mary.
(メアリーは背が低いですが、アンはメアリーより背が低いです。)

Ana is taller than Jon. **Jon is shorter than Ana.**
(アナはジョンより背が高い。) (ジョンはアナより背が低い。)

Lisa is happier than Tom. **Tom is sadder than Lisa.**
(リサはトムより幸せです。) (トムはリサより悲しいです。)

注意: いくつかの形容詞でスペルが変わる ことがあります。

a. 子音で終わる一音だけの形容詞で、短い発音の母音があるものは、“**er**”の前に子音を二つつける。

sad - **sadder** (もっと悲しい) hot - **hotter** (もっと熱い)

fat - **fatter** (もっと太っている) big - **bigger** (もっと大きい)

b. 形容詞が“**y**”で終わる時、“**er**”を加える前に、“**y**”を“**i**”に変える。
happy-happier (もっと幸せ) pretty-**prettier** (もっと可愛い)

c. 比較形容詞のいくつかには、完全に言葉が変わることがある。:
bad-worse (更に悪い) little-less (更に少ない)
good-better (更に良い) far-farther (更に遠い)

2. 一つ以上の子音のある形容詞において比較級を作るために形容詞の前に“**more**”をおいて作り、“**than**”を形容詞の後につけます。(この場合、“**-er than**”を形容詞の語句につけない。)

例: You are **more correct than** your sister.
(あなたは妹より正しい。)

This house is **more expensive than** the other house.
(この家はもう一つの家よりも値段が高い。)

This job is **more difficult than** the last one.
(この仕事はこの前のよりも難しい。)

練習: 下記の文章で空欄をうめなさい。

1. My sister is hot, but I am _____.
(私のお姉さんは熱いですが、私はもっと熱いです。)
2. His car is fast, but our car is _____.
(彼の車は速いですが、私の車はもっと速いです。)
3. Michael is strong, but Philip is _____.
(マイケルは強いですが、フィリップはもっと強いです。)
4. John is (weak) _____ Michael.
(ジョンはマイケルより [弱い] です。)
5. I'm a good student, but you're a _____ one.
(私は良い生徒ですが、あなたはもっと優秀です。)
6. That is expensive, but this is _____.
(それは値段が高いですが、これはもっと 高いです。)

B. 強度の度合い- 最上級

1. 三つやそれ以上のものや人の中で、最上級を表すために、形容詞が一音だけな場合、“**the**”を形容詞の前に、“**-est**”を形容詞の後に置く。

例:

My house is nice. (私の家は素敵です。)

Peter's house is nicer. (ピーターの家はもっと素敵です。)

Paul's house is the nicest. (ポールの家が一番素敵です。)

Anna is taller than Carla but Raul is the tallest.

(アナはカーラより背が高いが、ラウルが一番高いです。)

Nelda is fatter than Rocío, but María is the fattest.

(ネルダはルシオより太っているが、マリアが一番太っている。)

注意: スペルが違うこともあります。:

Fat: fattest
Hot: hottest

happy: happiest
big: biggest

注意: いくつかの**最上級の形容詞**は、言葉が完全にかかります。
(**比較級**の形容詞と同様)

good (良い)	better (更に良い)	the best (最も良い)
bad (悪い)	worse (更に悪い)	the worst (最も悪い)

2. 一音以上の音を持つ形容詞で**最上級**を作る場合、“**the most**”を形容詞の前に置く。
(“-est”を形容詞の最後につけない。)

例:

Your answers are **the most correct** of the class.
(あなたの答えはクラスの中で最も正しい。)

This is **the most expensive** car in the showroom.
(これはショールームの中で最も値段の高い車です。)

練習: 下記で空欄を埋めなさい。

- My sister is (smart) _____ I, but your sister is _____.
(私の姉妹は私より賢いが、あなたのお姉さんは一番賢いです。)
- Your girlfriend is (shy) _____ mine, but his is _____.
(あなたの彼女は僕の彼女より恥ずかしがりだが、彼の彼女は一番恥ずかしがりです。)
- London is (far) _____ Paris, but Moscow is _____.
(ロンドンパリより遠いが、モスクワが一番遠いです。)
- My boat is (big) _____ yours, but Joe's boat is _____.
(私の船はあなたのより大きいですが、ジョーの船が一番大きいです。)

II. 所有形容詞 (Possessive Adjectives)

所有形容詞は誰かが何かを所有しているということを示すために使われます。所有形容詞は名詞の前に置かれます。: 私の、東京の。全ての代名詞には、それに伴った所有形容詞があります。

例:

Personal Pronouns

I	(私は)
you	あなたは
he	(彼は)
she	(彼女は)
it	(それは)
we	(私たちは)
you	(あなたは)
they	(彼らは)

Possessive Adjectives

my	house	(私の)
your	dog	(あなたの)
his	shirt	(彼の)*
her	dress	(彼女の)*
its	tail	(その)*
our	family	(私たちの)
your	homes	(あなたの)
their	shoes	(彼らの)

注意: 英語で"男性" **masculine (his)**と"女性" **feminine (her)**を示すものはそれぞれ一つずつである。

下記の中でいくつかは所有形容詞ではありませんが、人称代名詞や所有形容詞と一緒に学ぶべきです。

<u>Pronouns</u>	<u>Poss. Adjectives</u>	<u>Poss. Pronouns</u>	<u>Reflexive Pronouns</u>
I (私は)	my (私の)	mine (私のもの)	myself (私自身)
you (あなたは)	your (あなたの)	yours (あなたのもの)	yourself (あなた自身)
he (彼は)	his (彼の)	his (彼のもの)	himself (彼自身)
she (彼女は)	her (彼女の)	hers (彼女のもの)	herself (彼女自身)
we (私たちは)	our (私たちの)	ours (私たちのもの)	ourselves (私たち自身)
they (彼らは)	their (彼らの)	theirs (彼らのもの)	themselves (彼ら自身)

A. 強度の度合い — 比較級(Comparatives)

1. 1つの子音だけを持つ動作動詞を修飾する副詞を比較するために、**"-er than"**を副詞の語尾につける。(形容詞と同様)

例:

Mary runs **fast**, but John runs **faster than** Mary.
(メアリーは速く走りますが、ジョンは彼女よりも速く走ります。)

He works **hard**, but my brother works **harder than** he.
(彼は熱心に働きますが、私の兄は彼よりも熱心に働きます。)

Martha will arrive very soon, but Anna will arrive **sooner than** she.
(マーサはすぐに到着しますが、アナは彼女より先に到着します。)

2. 1つ以上の子音を持つ動作動詞を修飾する副詞を比較するために、**"more"**を副詞の前に、**"than"**を副詞の後に加える。

例:

John speaks **slowly**, but Mary speaks **more slowly than** John.
(ジョンはゆっくり話しますが、メアリーはジョンよりゆっくり話します。)

My boss travels **often**, but I travel **more often than** he.
(私のボスは頻繁に旅行しますが、私は彼よりも頻繁に旅行します。)

Richard dances **badly**, but Joseph dances **worse than** he.
(リチャードはダンスが下手ですが、ジョセフは彼よりも下手です。)

B. 強度の度合い—最上級 (Superlatives)

1. 1つの子音だけを持つ最上級の副詞は"**the**"を副詞の前に置き、"**-est**"を副詞の語尾につける。

Example:

John works **harder** than Leo, but Tom works **the hardest** of all.

(ジョンはレオより熱心に働きますが、トムは最も熱心に働きます。)

Martha shoots **faster** than I, but Anna shoots **the fastest** of all.

(マルタは私よりも速くシュートすることができますが、アナは最も速くシュートすることができます。)

He plays music **louder** than she, but Marlon plays **the loudest** of all.

(彼は彼女より大きな音で演奏しますが、マーロンは最も大きな音で演奏します。)

2. 1つ以上の子音を持つ副詞は "**the most**" を副詞の前においてつくる。

例:

Robert plays soccer **better** than Paul, but Peter plays **the best** of all.

(ロバートはポールよりサッカーが上手ですが、ピーターが一番上手です。)

I ride **more often** than my father, but my mother rides **the most often** of all.

(私は父より頻繁に乗りますが、母が最も頻繁に乗ります。)

She works **more carefully** than her friend, but I work **the most carefully**.

(彼女は友人より注意して働きますが、私が最も注意して働きます。)

練習: 下記の文章で副詞に下線を引きなさい。

1. This difficult project isn't entirely finished.
2. She performs well on the piano, but her sister performs much better.
3. My mother is too tired to come very early.
4. My sister studies very hard too early in the morning.
5. Please paint this wall again more carefully.

III. 前置語句 (Prepositional Phrases)

英語では、前置詞は節(小さな語句の集まり)を始める語句です。これらを前置語句と呼びます。**"by"** (～によって・～を使って)という言葉は前置詞です。**"by the car"** (車を使って) というと、前置詞句を使うこととなります。**"In"** (～の中で)も前置詞で、**"in the street"** (街頭で) という時に、別の前置詞句を使うこととなります。形容詞のような働きをする前置語句 (物や人を説明する) 副詞のような働きをする前置語句 (どんな、いつ、どこで、いくら、どのぐらい、いくつなどを説明する)

例:

The man by the car (adj.) in the street (adv.) is my uncle
(道にとめてある車の側の男性は私の叔父です。)

Peter came here after dinner (adv.) with his friends (adv.)
(ピーターは夕食の後に友人とここへ来ました。)

We were all against him (adv.) except the manager (adv.) of the store (adj.)
(私たちは、店のマネージャー以外全員が彼に反対でした。)

1. 英語で最もよく使われる前置詞:

at	(～で)	by	(～の側で)	in	(～の中で)	to	(～へ)
for	(～のために)	from	(～から)	of	(～の)		
on	(～の上で)	up	(～の上へ)	with	(～と共に)		

2. その他の前置詞:

above	(～の上方に)	except	(～を除いて)
across	(～の向こう側に)	into	(～の中へ)
after	(～の後で)	over	(～の上方に(覆うように))
against	(～に反して)	regarding	(～に関して)
along	(～に沿って)	since	(～以来)
among	(～の中で)	through	(～を通して)
around	(～の周りに)	throughout	(～のいたるところに)
before	(～の前に)	till	(～まで)
behind	(～の後ろに)	toward	(～に向かって)
beneath	(～の下に)	under	(～の下に)
between	(～の間に)	underneath	(～の下に(隠れて))
beyond	(～を超えて)	until	(～まで)
but	(しかし)	upon	(～の上に)
down	(～の下に)	within	(～以内で)
during	(～の間に)	without	(～なしに)

練習: これらの文章で前置語句に下線を引きなさい。

1. We all were against the idea, except Elder Rider.
2. The house behind the trees by the river in the country is hers.
3. Among all the people in the parade, we found a lost child in a pink dress.
4. I got into their house before they woke up in the morning.
5. The cow was in the barn behind the house with the red roof.

IV. 接続詞 (Conjunctions)

A. 接続詞は単語、節、そして文章を繋げる言葉です。

例:

You and I are friends. (単語)
(あなたと私は友達です。)

He ran in the street and over the bridge. (節)
(彼は通りと橋の向こうを走った。)

My friend went home, and I went in the house. (文章)
(私の友人は家へ帰り、私は家の中へ入った。)

B. 最もよく使われる接続詞:

And (〜と〜、そして) **or** (または、〜か) **but** (しかし)

例:

We are going to Coban **and** Belize next week.
(私たちは来週コバンとベリーズへ行ってきました。)

Mom **or** Dad has to go with us.
(母か父が私たちと一緒に行かなければいけない。)

You can go, **but** you can't stay very long.
(行けても、あまり長くは住めません。)

C. その他の接続詞:

so	(それで)	besides	(〜の他に)
so that	(〜なので〜)	accordingly	(したがって)
because	(〜だから)	however, although	(けれども)
if	(もし)	meanwhile	(一方では)
although	(〜にも関わらず)	since	(〜以来)
unless	(〜しない限り)	nevertheless	(それにしても)

練習: 下記の文章で接続詞に下線を引きなさい。

1. I bought it because I needed it.
2. If you don't want to come, you don't have to.
3. She bought them so that you can use them.
4. Blessings will not come to you unless you are obedient.
5. Although the present is small, you will like it very much.

課題: 下記の文章を英訳しなさい。形容詞の上に“adj.”、副詞の上に“adv.”と書きなさい。前置語句に下線を引きなさい。

1. 私はとても素敵な青い車を持っています。

2. ローラはもっと大きな家が必要です。

3. マーサはとても美しいドレスを家の近くのお店で買いました。

4. バランテス長老はたくさんの「金人家族」を伝道で見つけました。

5. 角のこの家は他の家より素敵ですが、あなたの家は中でも一番素敵です。

6. 彼はとてもよく働くが、多くの時間がかかります。

規則動詞

グループ 1: “ed”を“d”と発音する。

日本語	原形	過去形	現在進行形	過去分詞形
1. 開く	open	opened	are opening	have opened
2. 愛する	love	loved	is loving	has loved
3. 学ぶ	learn	learned	are learning	had learned
4. 急ぐ	hurry	hurried	are burying	have hurried
5. 変える	change	changed	are changing	have changed
6. 閉める	close	closed	are closing	had closed
7. 答える	answer	answered	are answering	have answered
8. 続ける	continue	continued	is continuing	has continued
9. 信じる	believe	believed	is believing	has believed
10. 楽しむ	enjoy	enjoyed	is enjoying	had enjoyed
11. 聞く	listen	listened	is listening	had listened
12. 勉強する	study	studied	are studying	have studied
13. 説明する	explain	explained	is explaining	has explained
14. 想像する	imagine	imagined	are imagining	have imagined
15. 遊ぶ	play	played	is playing	has played
16. 掃除する	clean	cleaned	is cleaning	had cleaned
17. 到着する	arrive	arrived	are arriving	have arrived
18. 雨が降る	rain	rained	is raining	has rained
19. 名付ける	name	named	are naming	have named
20. 滞在する	stay	stayed	is staying	has stayed
21. 属する	belong	belonged	are belonging	had belonged
22. 計画する	plan	planned	are planning	have planned
23. 準備する	prepare	prepared	are preparing	have prepared
24. 受け取る	receive	received	are receiving	had received
25. 思い出す	remember	remembered	are remembering	have remembered
26. 従う	follow	followed	is following	has followed
27. 試す	try	tried	is trying	had tried
28. 使う	use	used	are using	have used
29. 旅行する	travel	traveled	is traveling	has traveled
30. まわる	turn	turned	are turning	have turned
31. 住む	live	lived	are living	had lived

グループ 2: “-ed” を “t” と発音する。

日本語	原形	過去形	進行形	過去分詞形
1. 助ける	help	helped	are helping	have helped
2. 踊る	dance	danced	is dancing	has danced
3. 消す	erase	erased	is dancing	had erased
4. 歩く	walk	walked	is walking	has walked
5. 料理をする	cook	cooked	are cooking	had cooked
6. 願う	wish	wished	are wishing	have wished
7. タバコを吸う	smoke	smoked	is smoking	has smoked
8. 好き	like	liked	is liking	had liked
9. 話す	talk	talked	are talking	have talked
10. 洗う	wash	washed	is washing	has washed
11. 見る	look	looked	are looking	had looked
12. 通る	pass	passed	are passing	have passed
13. 尋ねる	ask	asked	is asking	has asked
14. 約束する	promise	promised	is promising	had promised
15. とぶ	jump	jumped	are jumping	have jumped
16. 終える	finish	finished	is finishing	has finished
17. 働く	work	worked	are working	had worked
18. 着せる	dress	dressed	are dressing	have dressed

グループ 3: “-ed” を “-ed” と発音する。

日本語	原形	過去形	進行形	過去分詞形
1. 終わる	end	ended	are ending	have ended
2. 受け入れる	accept	accepted	are accepting	have accepted
3. 出席する	attend	attended	is attending	has attended
4. 断食する	fast	fasted	are fasting	have fasted
5. 始める	start	started	is starting	had started
6. 期待する	expect	expected	are expecting	have expected
7. 待つ	wait	waited	is waiting	has waited
8. 存在する	exist	existed	are existing	had existed
9. 導く	guide	guided	is guiding	has guided
10. 招待する	invite	invited	are inviting	have invited
11. 必要とする	need	needed	is needing	had needed
12. 欲しい	want	wanted	are wanting	have wanted
13. 繰り返す	repeat	repeated	is repeating	has repeated
14. 復活する	resurrect	resurrected	is resurrecting	had resurrected
15. 訪問する	visit	visited	is visiting	has visited

不規則動詞 - #1
(最もよく使われるもの)

特別な動詞

日本語	原形	過去形	進行形	過去分詞形
1. 行く	go	went	going	gone
2. できる	can	could	----	could
3. いる・ある	am, is, are	was, were	being	been
4. 持つ	have	had	having	had

普通の動詞

日本語	原形	過去形	進行形	過去分詞形
1. 食べる	eat	ate	eating	eaten
2. 与える	give	gave	giving	given
3. 言う	say	said	saying	said
4. 伝える	tell	told	telling	told
5. 始める	begin	began	beginning	begun
6. 見つける	find	found	finding	found
7. 教える	teach	taught	teaching	taught
8. 書く	write	wrote	writing	written
9. 話す	speak	spoke	speaking	spoken
10. する	do	did	doing	done
11. 作る	make	made	making	made
12. 読む	read (rid)	read (red)	reading	read (red)
13. 得る	get	got	getting	got, gotten
14. 思う	think	thought	thinking	thought
15. 知る	know	knew	knowing	known
16. 感じる	feel	felt	feeling	felt
17. 取る	take	took	taking	taken
18. もたらす	bring	brought	bringing	brought
19. 来る	come	came	coming	come
20. 見る	see	saw	seeing	seen

不規則動詞 - # 2

日本語	原形	過去形	進行形	過去分詞形
1. 証する	bear	bore	bearing	borne, born
2. つかまえる	catch	caught	catching	caught
3. 飲む	drink	drank	drinking	drunk
4. 落ちる	fall	fell	falling	fallen
5. 買う	buy	bought	buying	bought
6. 運転する	drive	drove	driving	driven
7. 切る	cut	cut	cutting	cut
8. かかる	cost	cost	costing	cost
9. 餌を与える	feed	fed	feeding	fed
10. 描く	draw	drew	drawing	drawn
11. 建てる	build	built	building	built
12. 見つける	find	found	finding	found
13. 選ぶ	choose	chose	choosing	chosen
14. 混ぜる	beat	beat	beating	beaten
15. なる	become	became	becoming	become
16. 噛む	bite	bit	biting	bitten
17. 忘れる	forget	forgot	forgetting	forgotten
18. 戦う	fight	fought	fighting	fought
19. 赦す	forgive	forgave	forgiving	forgiven
20. 壊す	break	broke	breaking	broken

英語を学ぶ

もしあなたが英語を話さなければ、宣教師として英語を勉強する義務があります。それは伝道中と生涯を通じてあなたの祝福となります。英語を学ぶことによって様々な方法で主の王国の建設を助けることができるだけでなく、それはあなた自身とあなたの家族にとっても祝福となります。(わたしの福音を宣べ伝えなさい, p. 128)

Learn English

If you do not speak English, you should study it as a missionary. This will bless you during your mission and throughout your life. Learning English will enable you to help build the Lord's kingdom in additional ways and will be a blessing for you and your family. (Preach My Gospel, p. 128)

Learn with Your Companion

Help your companions experience success and gain confidence in learning the language as rapidly as possible. Sincerely and frequently compliment your companions and other missionaries on their progress. Be sensitive not to say or do anything that might weaken their confidence, but don't protect them so much that they do not learn. Do not withhold help when it is needed. (Preach My Gospel, p. 131)

日本語	原形	過去形	進行形	過去分詞形
1. 横になる	lie	lay	lying	lain
2. ひざまずく	kneel	knelt	kneeling	knelt
3. 輝く	shine	shone	shinning	shone
4. 探し求める	seek	sought	seeking	sought
5. 歌う	sing	sang	singing	sung
6. 閉じる	shut	shut	shutting	shut
7. 理解する	understand	understood	understanding	understood
8. 走る	run	ran	running	run
9. 成長する	grow	grew	growing	grown
10. ~させる	let	let	letting	let
11. 起きる	wake	woke	waking	woken
12. 導く	lead	led	leading	led
13. 眠る	sleep	slept	sleeping	slept
14. 送る	send	sent	sending	sent
15. 隠す	hide	hid	hiding	hidden
16. 直す	fix	fixed	fixing	fixed
17. 勝つ	win	won	winning	won
18. (金を)使う	spend	spent	spending	spent
19. 守る	keep	kept	keeping	kept
20. 傷つく	hurt	hurt	hurting	hurt
21. 着る	wear	wore	wearing	worn
22. 嘘をつく	lie	lied	lying	lied
23. 乗る	ride	rode	riding	ridden
24. 見せる	show	showed	showing	shown
25. 立つ	stand	stood	standing	stood
26. 打つ	hit	hit	hitting	hit
27. なくす	lose	lost	losing	lost
28. 置く	put	put	putting	put
29. 結び固める	steal	stole	stealing	stolen
30. 出発する・残す	leave	left	leaving	left
31. 座る	sit	sat	sitting	sat
32. 意味する	mean	meant	meaning	meant
33. 鳴る	ring	rang	ringing	rung
34. つかむ	hold	held	holding	held
35. 振る	shake	shook	shaking	shaken
36. 投げる	throw	threw	throwing	thrown
37. 売る	sell	sold	selling	sold
38. 飛ぶ	fly	flew	flying	flown